

【競争参加者様へ：留意点】

プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

2022年6月29日 更新

質問者記入欄					JICA記入欄	
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2022年6月29日	22a00251000000	トンガ国ファアモツ国際空港改善計画準備調査	社会基盤部 運輸交通グループ	「基礎情報収集・確認調査」の報告書をJICA図書館で確認できますが、平面図等が黒塗りになっている調査内容が理解できません。公示の際の配布資料には黒塗りがされていない報告書が配布されるのかご確認をお願いします。	回答準備中	2022年6月29日
2022年7月6日	22a00179000000	全世界ワクチン等医薬品の研究開発・生産基盤整備促進のための情報収集・確認調査	人間開発部新型コロナウィルス感染症対策協力推進室	「ワクチン等医薬品」とあるが、調査スコープはワクチンと治療薬の両方という理解で良いか。あるいはワクチン関連の状況を重点的に調査する方針か。業務内容や業務量に大きく影響する部分と史料される。	ワクチン、治療薬に加え、診断薬を想定。ただし、PMDA、NCGM等で既に有する関連情報を確認のうえ、現地調査では追加的に収集すべき内容に限定いただきます。	2022年6月29日
2022年7月6日	22a00179000000	全世界ワクチン等医薬品の研究開発・生産基盤整備促進のための情報収集・確認調査	人間開発部新型コロナウィルス感染症対策協力推進室	業務担当分野「業務主任者／官民連携」に関し、官民連携の具体的な業務内容や役割について伺いたい。	製薬企業を始めとする日本側関係機関と連携した支援活動の企画・試行的実施や、製品の海外展開を検討する日本側関係機関にとって有用な情報となるよう調査結果を取り纏める役割を担っていただきます。	2022年6月29日
2022年7月6日	22a00179000000	全世界ワクチン等医薬品の研究開発・生産基盤整備促進のための情報収集・確認調査	人間開発部新型コロナウィルス感染症対策協力推進室	業務担当分野に「研修監理1／人材育成」、「研修監理2／データ分析」とあるが、対象国関連機関の人材に対して、本邦にて研修を実施することを想定しているか。また、「有効性が見込まれる支援活動」の一つとして当該研修を位置付けているという理解で良いか。	支援活動の一つとしてセミナー・研修会の本邦またはオンラインでの開催を想定していますが、本調査の趣旨に合うと思われる具体的な支援活動をプロポーザルでご提案いただくことを期待しています。	2022年6月29日
2022年7月6日	22a00179000000	全世界ワクチン等医薬品の研究開発・生産基盤整備促進のための情報収集・確認調査	人間開発部新型コロナウィルス感染症対策協力推進室	業務担当分野「研修監理2／データ分析」では、具体的にどのようなデータ種・分析手法・ツールの利用を想定しているか。現時点で可能な範囲で詳細を伺いたい。	治験データを読み解くことができる素地をお持ちの方の配置を想定しています。現時点では具体的なデータ種・分析手法・ツールは回答できませんが、関連する支援活動（治験に関連するデータベース構築支援等）の提案も期待しています。	2022年6月29日
2022年7月13日	22a00311000000	インド国市場志向型農業振興（SHEP）展開・促進のための情報収集・確認調査	経済開発部 農業・農村開発第一グループ	履行期間が2022年10月～2025年2月の約2.4年間、要員は3分野で約14人月の予定となっています。平均すると年間5.8人月、一人あたり年間1.9人月となります。履行期間や人月は合っていますでしょうか？	履行期間は予定通り、約2.4年間を想定しています。なおこの間、研修、フォローアップ、ワークショップのサイクルを3回行うこととなり、それぞれの業務は短期間になっています。一方で、人月については改めて見直し国内・現地業務ともに、増やす方向で検討中です。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00220000000	イラン国セフィードルード川流域統合水資源管理能力強化プロジェクト	地球環境部 水資源グループ	4番目に記載の担当分野で、「気象/水文/環境/水質/業務調整送配水管理」となっておりますが、この担当名で良いかを確認させていただきます。	4番目に記載の担当分野である、「気象/水文/環境/水質/業務調整送配水管理」は誤記であり、「水文・気象」、「環境・水質」に訂正いたします。また、「業務調整」は、「社会経済調査・分析」及び「社会システム/組織」に追記し、「社会経済調査・分析/業務調整1」、「社会システム/組織/業務調整2」に訂正いたします。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	情報収集確認調査では「マレ首都圏」とされておりましたが、本プレ公示案件では「マレ島」とされております。フルマレ島は今後も対象とはされないこととなりますでしょうか？	本協力準備調査はマレ島を対象としています。フルマレ島などのマレ首都圏に対する今後の新規協力については、現時点で未定となっています。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	準備調査期間が2022年9月から23年10月と13か月見込んでいますが、人月数の割に長いと思われま	無償資金協力の協力準備調査の標準的なスケジュールで設定しています。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	雨水排水ポンプ運転の遠隔監視制御システム（SCADA）の導入は、緊急的な排水改善というよりもMWSCの運営改善、排水分野での何らかの支援開始の位置づけという理解で宜しいでしょうか。	雨水排水ポンプの遠隔操作やモニタリングによる運営体制の強化がニーズとして上げられたため、調査対象としています。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	無償事業実施に当たり、ポンプの監視のみでなく制御も行うこと、あるいは準備調査でその必要性を確認することを想定しておりますでしょうか？	遠隔監視制御システムの導入を対象としおり、制御に係る有効性については協力準備調査で確認することを予定しています。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	これに関連し、「排水ポンプ施設遠隔監視制御システム設計」と同運営を分けた理由をご教示ください。（共に3号と記載がありますが、これは転記ミスでしょうか）	過去の類似調査で、「排水ポンプ施設遠隔監視制御システム設計」と「排水ポンプ施設遠隔監視制御システム運営」を設定しているため、今回も設定しました。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	「電気通信」については排水ポンプ施設を対象としておりますでしょうか？「排水ポンプ施設遠隔監視制御システム設計」についても電気通信に詳しい専門家が担当するものと思いますが、所掌の違いはありますか。また、海岸護岸についても何か想定されているでしょうか。	「電気通信」は、排水ポンプ施設遠隔監視制御システムの設計・運営に必要な設置環境に関する調査を想定しております。海岸護岸は対象として想定していません。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	同様に機材計画についても対象が雨水排水の監視制御システムのことか、ご教示ください。また、清掃機材も対象としているでしょうか。	機材計画は、排水ポンプ施設遠隔監視制御システム、道路排水路清掃機材等を予定しています。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	排水分野の必要専門家を設定するに当たり、過去の上下水道無償準備調査で何か参考にされた案件はありますか。	フィリピン共和国向け「メトロセブ水道区上供給改善計画準備調査」を参考としています。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	監視制御システムの供与対象はインフラ省でなくMWSCとなりますが、その辺りの調整はどのようにお考えでしょうか。	協力準備調査で確認することを予定しています。	2022年6月29日
2022年7月20日	22a00316000000	モルディブ国マレ島災害に対する強靱性向上計画準備調査	地球環境部 防災第二課	準備調査で、SCADAの導入が現時点では時期尚早と判断された場合は、今回の無償資金協力に含めないという結論の可能性もありませんか？	協力ニーズの妥当性や維持管理体制の確保の見通しを確認し、無償資金協力の本体事業の具体的な協力内容を検討します。遠隔監視制御システムの効果については、協力準備調査で確認することを予定しています。	2022年6月29日
2022年7月27日	22a00355000000	ホンジュラス国地域に根差した金融包摂推進を通じた貧困削減プロジェクト	ガバナンス・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室	評価対象者として外国籍人材の活用も検討したいと存じますが、本件業務従事者における外国籍人材登用可能性の見通しは如何でしょうか。	本事業について外国籍人材の活用は可能ですので、積極的にご検討ください。（以下、JICA HPプロポーザル作成ガイドライン7ページより抜粋） 途上国における類似業務の経験・実績を持つ外国籍人材の活用が可能です。ただし、委託される業務は我が国ODAの実施業務であることに鑑み、外国籍人材の活用上限は、当該業務全体の業務従事者人月の2分の1及び業務従事者数の2分の1を目途としてください。なお、業務主任者を含む評価対象業務従事者に外国籍人材を活用する場合、当該業務従事者が日本語を母国語としない場合は、日本語のコミュニケーション能力について、記述してください。日本語の資格を取得している場合、証書の写しを添付してください。	2022年6月29日
2022年7月27日	22a00355000000	ホンジュラス国地域に根差した金融包摂推進を通じた貧困削減プロジェクト	ガバナンス・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室	評価対象者の評価言語は、西語になる予定でしょうか。あるいは英語になる見通しでしょうか。	少なくとも1名は西語となる想定です。	2022年6月29日
2022年7月27日	22a00355000000	ホンジュラス国地域に根差した金融包摂推進を通じた貧困削減プロジェクト	ガバナンス・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室	二段階方式での実施とのことですが、この度の公示への提案書では、一段階目と二段階目の両方に関する提案が想定されていますでしょうか。あるいは、今回の提案書は一段階目のみを対象とし、一段階目終了後に、改めて二段階目に関する公示がなされる予定でしょうか。	本公示は、詳細計画策定フェーズと本体いずれもの業務が範囲となります。	2022年6月29日
2022年7月27日	22a00355000000	ホンジュラス国地域に根差した金融包摂推進を通じた貧困削減プロジェクト	ガバナンス・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室	「チーフアドバイザー＝業務主任者」と考えて宜しいでしょうか。業務管理グループを設置する場合、副主任者という呼称ではなく、副チーフアドバイザーという形で提案すればよいでしょうか。	「チーフアドバイザー」を「業務主任者」に変更します。業務管理グループを設置する場合は、「副業務主任者」でご提案下さい。	2022年6月29日